

つぼみルーム・0・1・2歳児クラス 生活発表会号

今年からつぼみルームも加わり、賑やかな発表会になりました。待ちきれずに幕の間から顔をのぞかせてお家の人を探す姿も可愛らしく、満面の笑顔、少し泣き顔、ドキドキの顔など様々な表情を見せていました。子ども達の小さな成長や健気な姿を、幼児クラスの保護者の方にも可愛らしく、そして懐かしく見ていただけたらと思っています。当日は温かい拍手をありがとうございました。

ひよこ組 「はじめての・・・？」

泣いてもかわいいひよこちゃん！



ラーメン屋さん、消防士、お寿司屋さん、マグロを
狙うネコちゃん、阪神タイガースからドラフト1位指名

された野球選手に変身し、様々な小道具を持って登場しました。当日、お客さんにビックリして泣く子もいるかな？と思っていましたが、先生の手を振り払って1人でスタスタ歩いていく子もいるほどでした！衣装合わせの時、園長先生方の手作り衣装を着て鏡の前に行くと、嫌がっていた帽子もすんなりかぶり嬉しそうなお友達でした。「はい、どうぞ〜」「ありがとう」などジェスチャーから少しずつ言葉のやり取りも加わっている子ども達の成長も見ていただけたのでは、と思っています。



ぱんだ組「カエル園は大騒ぎ！！」

大きくなるってことは...

リハーサルの日は声も動きも小さかった子ども達。園長先生から、はな組さんになるということは、自分で自分のことをしていくこと。劇遊びは、先生もそばにいるけれど自分たちで劇ごっこをすると約束をしました。まだうさぎ組さんに無い恥ずかしさ・ドキドキする気持ちを乗り越える瀬戸際でした。その日から子どもたちの心がおおきく変化しました。

「(舞台は)10のお声出すね」「ハンバーグ食べるくらい大きなお口にする」など子どもたちから声が上がりました。まるで、お家の方に頑張っているところをみてもらいたいから泣かないと自分たちで決め「もう、赤ちゃんじゃないよ！大きくなりたい！」という子どもたちの気持ちが揺さぶられたようでした。舞台上がる直前、「劇ごっこがんばろうね」「うん！」と友達同士で声を掛け合う姿がありました。子どもたちの伸びていきたいという力を見守り、また自分でできる方法を考えながらはな組さんへの進級準備をしていきたいと思えます。



うさぎ組 あったかてぶくろ「いれて〜 いいよ〜」

18人みんなで舞台上立つことが出来た発表会。

子ども達みんな頑張りましたね。たくさんの大きな拍手をありがとうございました。

「いれて〜 いいよ〜」の園生活の一場面。はじめは「いれて〜 いやや〜」からの始まりでした。当日までに幼児クラスのお友達に見てもらい練習を重ねるごとに「いれて〜いいよ〜」と返事が返せるようになり、楽しんでいる様子が見られるようになってきました。

当日のお部屋ではいつもと違う雰囲気敏感な子は泣いてご機嫌斜めだったり、衣装を着て「みてみて〜」とご機嫌だったり、さまざまな登園でした。舞台の上ではたくさんのお客さんが見ている中で練習の成果を発揮していました。発表会では友だちの存在感も意識するようになり関わろうとする姿も増えてきました。達成感や友だちと一緒にすることの楽しさを感じ始めている今をよい機会にし、これからの保育に心身ともに大きく成長できるよう取り組んでいきたいと思えます。



つぼみルーム「つぼみちゃんの仮装大賞」

～成長がたのしみ！～



つぼみちゃんにとっては初めての発表会。先生との愛着関係を見てもらえたら・・・と考えたのが仮装大賞。ぴよんぴよん跳ねることが出来るようになった1歳児さん。先生にギュ〜ッとされたりおんぶをしてもらうことが大好きな0歳児さん。2歳児さんは自分で色んな事が出来るようになり、先生やお友だちと一緒に遊ぶことが大好き！



当日までに幼児クラスのお客さんに見てもらって、回を重ねるごとにもらえることが嬉しくなったり、慣れない環境で「イヤ！イヤ〜！」と大泣き・・・でも当日はみんな頑張りました。たくさんのお客さんの前に立つだけでもすごい事！

一週間、本園へ慣らし登園をして下さったおかげで子どもたちが落ち着いている控え室。衣装の帽子が入っているカゴから「ポーポ(帽子)」と自分で探して被る0歳児ちゃん。お友だちにも「どうぞ」と渡したり、ちゃんと自分の衣装やお友だちの衣装をわかっているんですよ。

発表会を終え、「自分で！」が出てきたり、お友だちとのやり取りを楽しんでいるつぼみちゃん。これからの成長が楽しみです！

子ども達の気持ちを受け止めながら、のびのびと遊びたいと思えます。

